

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 菊水化学工業株式会社
 コード番号 7953 URL <http://www.kikusui-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 遠山 真人
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 管理本部長 (氏名) 稲葉 信彦
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 052-300-2222

平成24年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,234	3.6	314	29.9	330	36.1	190	61.8
24年3月期第2四半期	8,914	16.9	242	39.9	242	33.3	117	203.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 159百万円 (69.2%) 24年3月期第2四半期 94百万円 (583.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	18.60	—
24年3月期第2四半期	11.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,413	7,217	50.0
24年3月期	14,154	7,103	50.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,213百万円 24年3月期 7,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,260	9.4	806	43.9	835	43.9	480	80.5	46.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	10,716,954 株	24年3月期	10,716,954 株
25年3月期2Q	480,494 株	24年3月期	514,494 株
25年3月期2Q	10,218,174 株	24年3月期2Q	10,484,574 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景として緩やかな景気の回復が見られたものの、海外経済の減速を受け、足踏み状態となっております。個人消費は、夏物家電販売の好調やエコカー補助金再開に伴う自動車販売の好調もあり堅調に推移していましたが、消費者マインドや、政策効果の一巡などから減少傾向にあります。

このような状況の下、当社グループは、国内におけるシェア拡大の絶好の機会と捉え、コストの低減、物流の見直し、新製品の開発などの対応を行い、「下地から仕上げまで」を販売戦略の要として新規顧客の開拓へ積極的な営業活動を展開しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高92億34百万円と前年同四半期と比べて3億19百万円の増収を計上することができました。

また、利益につきましては、営業利益は3億14百万円と前年同四半期と比べて72百万円の増益、経常利益は3億30百万円と前年同四半期と比べて87百万円の増益、四半期純利益は1億90百万円と前年同四半期と比べて72百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(製品販売・工事)

製品販売・工事においては、既存建築物の長寿命化のポイントとなる本体構造の健全化と、仕上材でいかに建物の魅力を引き出し保護するかを考え「”人と建物と色” ソーシャルワーカーの提唱」と題したセミナーを開催し、住宅・建築業界の更なる活性化に向けて活動しました。

さらに、住宅、建設関連業者向けに下地から仕上げまでの幅広い商品ラインナップに努め、アライアンスパートナーとの強化を図るとともに好調なりフォーム需要の取り込みの結果、製品販売・工事の売上高は89億89百万円と前年同四半期と比べて4億21百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3億72百万円と前年同四半期と比べ1億10百万円の増益となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来は当社製品の購買先の観点から「材売・工事」としていた報告セグメントの名称を、当社製品の販売である点に着目して「製品販売・工事」に名称変更し、「製品販売・工事」と「セラミック」に区別しておりますが、報告セグメントの区分方法に変更がありませんので、金額における影響はありません。

(セラミック)

セラミックにおいては、電機・電子部品向けの焼成治具の売上は、第1四半期に比べ回復してきましたが、機構部品の受注は低迷した状態が続いています。その結果、売上高は2億44百万円となり前年同四半期に比べ1億2百万円減収となり、セグメント損失(営業損失)は58百万円と前年同四半期と比べ、37百万円の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は144億13百万円(前連結会計年度末比2億58百万円増)となりました。

これは主として現金及び預金が11億29百万円増加、未収入金が1億34百万円増加、受取手形及び売掛金が9億37百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は71億96百万円(前連結会計年度末比1億44百万円増)となりました。

これは主として長期借入金が3億4百万円増加、未払費用が1億35百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は72億17百万円(前連結会計年度末比1億13百万円増)となりました。

これは主として利益剰余金が1億27百万円増加、その他有価証券評価差額金が33百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に発表いたしました業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<p>(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)</p> <p>当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。</p> <p>なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。</p>

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,696,707	3,826,621
受取手形及び売掛金	5,498,607	4,561,552
商品及び製品	470,345	467,607
仕掛品	175,207	169,512
原材料及び貯蔵品	245,995	247,337
繰延税金資産	169,924	169,924
その他	251,729	393,564
貸倒引当金	△9,277	△8,732
流動資産合計	9,499,241	9,827,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	735,249	702,022
機械装置及び運搬具(純額)	148,165	147,874
土地	1,497,931	1,497,931
リース資産(純額)	203,903	182,805
その他(純額)	52,430	43,578
有形固定資産合計	2,637,680	2,574,211
無形固定資産		
のれん	35,223	29,404
その他	70,967	62,100
無形固定資産合計	106,190	91,504
投資その他の資産		
投資有価証券	913,058	920,868
繰延税金資産	205,647	213,886
長期預金	610,000	610,000
その他	188,862	176,324
貸倒引当金	△6,046	△1,026
投資その他の資産合計	1,911,521	1,920,053
固定資産合計	4,655,392	4,585,769
資産合計	14,154,633	14,413,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,003,735	2,969,835
短期借入金	1,450,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	115,612	88,055
1年内償還予定の社債	68,800	68,800
リース債務	34,510	29,378
未払法人税等	67,740	141,924
その他	1,031,963	873,960
流動負債合計	5,772,362	5,621,953
固定負債		
社債	282,400	248,000
長期借入金	226,533	531,284
退職給付引当金	466,987	472,796
役員退職慰労引当金	179,632	183,567
その他	123,151	138,459
固定負債合計	1,278,704	1,574,107
負債合計	7,051,066	7,196,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,394,100	1,394,100
資本剰余金	1,092,160	1,092,160
利益剰余金	4,835,390	4,962,621
自己株式	△255,636	△238,976
株主資本合計	7,066,014	7,209,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,159	3,218
その他の包括利益累計額合計	37,159	3,218
少数株主持分	393	3,971
純資産合計	7,103,567	7,217,095
負債純資産合計	14,154,633	14,413,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	8,914,808	9,234,249
売上原価	6,576,397	6,757,328
売上総利益	2,338,411	2,476,921
販売費及び一般管理費	2,096,113	2,162,288
営業利益	242,297	314,632
営業外収益		
受取利息	3,280	3,197
受取配当金	7,893	9,297
仕入割引	3,305	998
受取ロイヤリティー	—	2,521
受取賃貸料	5,214	5,214
その他	4,256	11,892
営業外収益合計	23,950	33,121
営業外費用		
支払利息	9,169	8,298
売上割引	4,283	5,422
社債発行費	5,217	—
減価償却費	4,190	2,655
その他	794	1,090
営業外費用合計	23,656	17,467
経常利益	242,592	330,286
特別利益		
固定資産売却益	3,222	—
特別利益合計	3,222	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	840
固定資産除却損	1,719	1,804
会員権評価損	1,573	—
特別損失合計	3,293	2,645
税金等調整前四半期純利益	242,521	327,641
法人税等	124,873	133,908
少数株主損益調整前四半期純利益	117,648	193,732
少数株主利益	159	3,595
四半期純利益	117,489	190,137

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	117,648	193,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,210	△33,957
その他の包括利益合計	△23,210	△33,957
四半期包括利益	94,438	159,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,141	156,196
少数株主に係る四半期包括利益	296	3,578

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	242,521	327,641
減価償却費	112,427	96,804
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△21,952	5,809
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△70,042	3,935
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,650	△5,565
受取利息及び受取配当金	△11,174	△12,495
支払利息	9,169	8,298
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	840
売上債権の増減額 (△は増加)	88,205	942,073
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28,283	7,091
仕入債務の増減額 (△は減少)	△196,610	△33,899
その他	△125,511	△281,435
小計	3,398	1,059,099
利息及び配当金の受取額	11,040	12,451
利息の支払額	△9,228	△9,359
法人税等の支払額	△299,922	△46,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	△294,711	1,015,823
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△9,853	△102,850
有形固定資産の売却による収入	44,247	—
有形固定資産の取得による支出	△91,589	△42,612
無形固定資産の取得による支出	△495	—
無形固定資産の売却による収入	—	28,791
投資有価証券の取得による支出	△25,905	△50,847
その他	△1,457	5,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,054	△162,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	—
長期借入れによる収入	150,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△12,300	△22,806
社債の発行による収入	194,782	—
社債の償還による支出	△214,400	△34,400
自己株式の取得による支出	△1,132	—
自己株式の処分による収入	—	15,293
リース債務の返済による支出	△20,369	△21,901
配当金の支払額	△62,909	△62,906
財務活動によるキャッシュ・フロー	83,672	173,278
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△296,052	1,027,063
現金及び現金同等物の期首残高	2,466,812	2,390,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,170,759	3,418,033

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	製品販売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	8,567,988	346,819	8,914,808	8,914,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	8,567,988	346,819	8,914,808	8,914,808
セグメント利益又は損失(△)	262,722	△20,424	242,297	242,297

(注) 報告セグメントの利益又は損失(△)の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	製品販売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	8,989,831	244,417	9,234,249	9,234,249
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	8,989,831	244,417	9,234,249	9,234,249
セグメント利益又は損失(△)	372,756	△58,123	314,632	314,632

(注)1. 報告セグメントの利益又は損失(△)の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致していません。

2. 報告セグメント名称の変更

第1四半期連結会計期間より、従来は当社製品の購買先の観点から「材売・工事」としていた報告セグメントの名称を、当社製品の販売である点に着目して「製品販売・工事」に名称変更し、「製品販売・工事」と「セラミック」に区別しておりますが、報告セグメントの区分方法に変更がありませんので、金額における影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報においても、変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

重要な設備投資

当社は、平成24年10月22日開催の取締役会において、粉体工場を新設することを決議いたしました。

(1) 設備投資の目的

当社が現在注力している住宅リフォーム、集合住宅の改修等に必要不可欠である無機製品は、今後も引き続き需要増が予想されることから、この需要増に対応するために現在の犬山工場とともに、生産能力の増強が必要と判断し、粉体工場を新設するものであります。

(2) 設備投資の内容

内容 無機製品のタイル用接着材、下地材、下地調整材等を製造する粉体工場

所在地 岐阜県各務原市(セラミック事業部内)

投資金額 5億円

(3) 設備の導入時期

着工予定 平成25年度

(4) 当該設備が営業・生産活動に及ぼす重要な影響

新設する粉体工場の生産能力は800,000袋/年となる見込みであります。